

# 文の あたま

## ステップ1

◆文の あたまに ついて べんきょう します。

「くは」や「くが」となっている ところが 文の あたまで  
す。文の あたまに せんを ひきましよう。

① おかあさんは おかいもの に 行った。

② ことが ないた。

③ にわで ことが ないた。

④ いけに かえるが とびこんだ。

⑤ あめが ふったので、ぼくは かさを  
さした

⑥ あめが ふったので、かさを さした。

# 文の あたま

## ステップ2

◆文の あたまの ことを「主語（しゅご）」と いいま  
す。つぎの きまりを、なぞりがきしましょう。

きまり

## 主語（しゅご）

文の あたまの こと。

「くは」「や」「くが」が

くつつくことが おおいです。

しゅごが ない ときも

あります。さくぶんを かく

ときは、しゅごが あったほう

が いみが わかりやすく

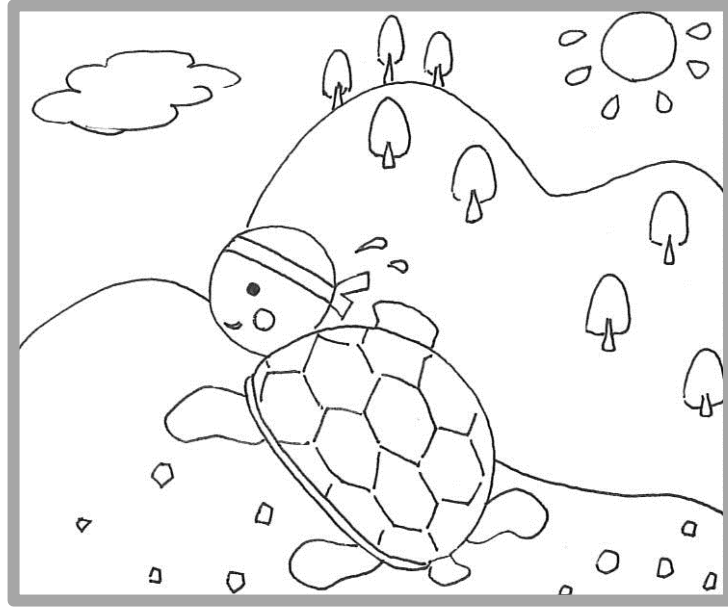
なります。

# 文の あたま

## ステップ3

◆えを見て、「は」「が」のある文をかいてみましょう。

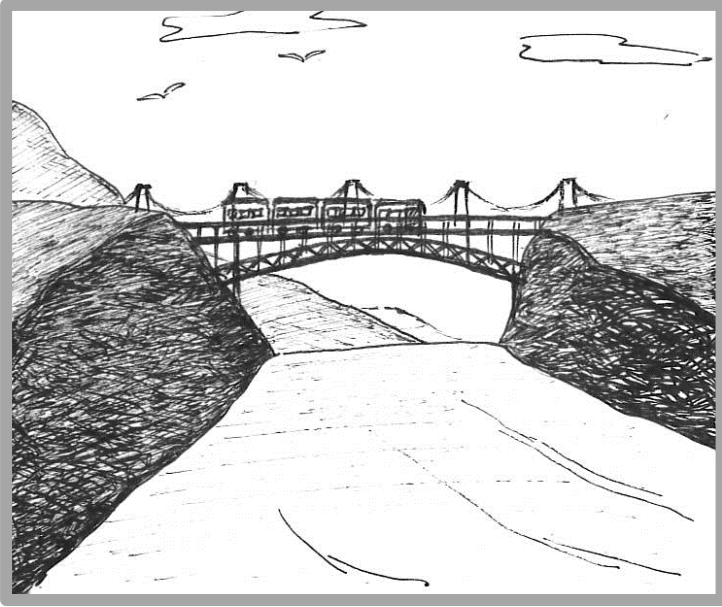
①



②



③



④

